

I 「健やかに育つ学びのエリア（赤塚一中・北野小・徳丸小）」 めざす子ども像

「友と 共に 学び続ける 徳丸の子」

○小小連携、小中連携をすすめ、3校の教員が協働し、共に授業を考え、実施することで児童理解を深める。

II 本校の教育目標

◎創造 よく考えて やりぬくことも

- ・ 基礎的・基本的な学力を身に付けるとともに、その力を駆使し、自ら課題解決ができる児童
- ・ 学ぶ喜び、分かる喜び、高め合う喜び、困難を乗り越え達成した喜びが感受できる児童

敬愛 なかよく たすけ合うことも

- ・ 思いやりの心を持ち、助け合える児童
- ・ 「今何をなすべきか」、「どう生きるか」に行動基準がある判断力が身に付いている児童

健康 明るく じょうぶなことも

- ・ すすんであいさつができる児童
- ・ 長い人生を健康に過ごすための基本的な生活習慣を身に付けた児童
- ・ 丈夫な身体と困難を乗り越えられることのできる強い心をもつ児童

III めざす学校像 「共に創る幸せな学校」

児童、保護者、地域、教職員それぞれの立場から考える「幸せな学校」を考え創っていくことをめざす。

IV 学校経営方針

迷ったら Go! 「安全・安心」、「健康」、「人権」の上に教育は成り立つ」を根底に据え、子どもたちが笑顔で、よいと思った、考えたことには積極的に挑戦し、主体的に学習に取り組む（**迷ったら Go!**）子ども（先生も!）を育てることを念頭に置き、全ての教育活動を推進していく。

1 学力向上 「自分の思い、願い、考えをもち 豊かに表現できる子の育成」

- (1) 板橋区授業スタンダード B（ベーシック）・S（セルフ、セレクト）を基軸にしての「**読み解く力**」の育成
 - ・ B Input - Think - Output (I-T-O) でつなぐ授業！表現（Output）することまで含めた「めあて」の提示
 - ・ S 自分の学習の進め方を自分で選ぶ、決める学習の計画的実施！
- (2) 基礎・基本の徹底 モジュールの時間、朝学習、放課後学習等の効果的活用

MIM、カクトレ等を活用し、着実に学習の基礎を身に付ける。丁寧な読み取り、考えを書く時間の確保
- (3) 一人一台端末、ICT機器等の効果的活用

文具（学校や家庭学習等）・教具（電子黒板、実物投影機、教員用PC等）としての活用

情報モラル教育の充実（端末使用のルール、個人情報）、学習の個別最適化（すららドリル等の活用）
- (4) 地域と連携した単元の開発「生活科」、「総合的な学習の時間」を中心に「**地域のよさを語れる子**」を育成
- (5) チーム学年での指導 教科担任制や**交換授業、合同授業を導入し、学年で子どもたちを指導する。**
- (6) 読書活動の充実
- (7) 学級活動の充実

2 健やかな心と体の成長 「誰一人取り残さない教育の推進」

- (1) あいさつの励行（生活指導の重点目標） 「あいさつのまち徳丸」の推進
- (2) 特別支援教育、不登校対策の充実 誰一人取り残さない学びの推進

特別支援校内委員会、不登校対策委員会を連携させての計画的な実施。

特別支援学級（五組）、特別支援教室（STER）との連携
- (3) いじめ防止・対応の充実 早期発見、早期解決（毎学期の調査、いじめに関する授業、いじめ防止対策委員会の計画的な実施）
- (4) 体力の向上 体育授業の充実、体育朝会等の体育的活動の計画的な実施 運動の日常化
- (5) 道徳教育の充実

3 保護者・地域と連携した教育の推進 「チーム徳丸!」「徳丸愛!」

- (1) iCS委員会・学校支援地域本部を両輪とし、PTA、徳父会等地域と連携した学校運営
- (2) 外部機関との連携 「子ども家庭総合支援センター」「区教委」「警察」「SSW」「スクールローヤー」等